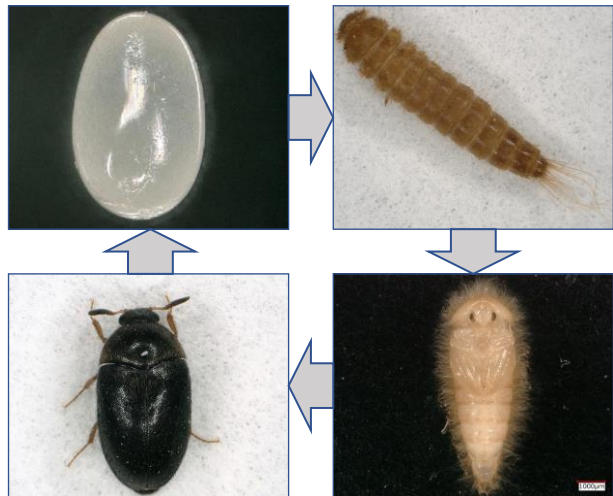


ヒメカツオブシムシ

分類：コウチュウ目(鞘翅目)カツオブシムシ科

学名：*Attagenus nuiicolor*

英名：Black carpet beetle



■解説

本種の成虫は花上で花蜜や花粉を食す。幼虫は野外では鳥の巣などで見られるが、屋内においては、動物性・植物性食品を広く加害する害虫として重要視されている。幼虫の餌となる動物性のものには、蚕の繭、生糸、絹織物、革製品、鰹節、乾魚、乾燥動物昆虫標本などがあり、植物性のものには、穀紛、穀粒、豆、貯蔵タバコなどがあるが、植物性の餌のみでは成虫まで成長することが出来ない。本種が卵から成虫になるまでに要する期間は6ヶ月～3年と、温度、餌の栄養状態でも異なり、また個体差が大きい。通常、温帯地方では年1世代のものが多い。

■体長¹⁾

卵：—
幼虫：約9mm
蛹：約5.5mm
成虫：約4mm

■産卵数¹⁾

産卵数/生涯：40～80粒

■ライフサイクル¹⁾

卵：10～18日
幼虫：300日余り
蛹：10～20日
成虫：1ヶ月

■発育零点（発育停止温度）

—

【参考文献】

1) 松崎沙和子・武衛和雄. 都市害虫百科. 朝倉書店. 1993, p. 48-49